
フルカラー
57ページ
エルフ母娘と
パコパコ
異文化交流！
～レナ編～


フルカラー
57ページ
エルフ母娘と
パコパコ
異文化交流！
～レナ編～

～前作のあらすじ～

エルフの「グリーンレイ」家に
ホームステイしに来た人間「ダイスケ」…
しかし彼の目的は
メスエルフとセックスすることだった。



「人間のオスの強いフェロモンが
メスエルフを発情させる」―
その特性を利用しダイスケは、
母親である「ステラ」を堕とした。



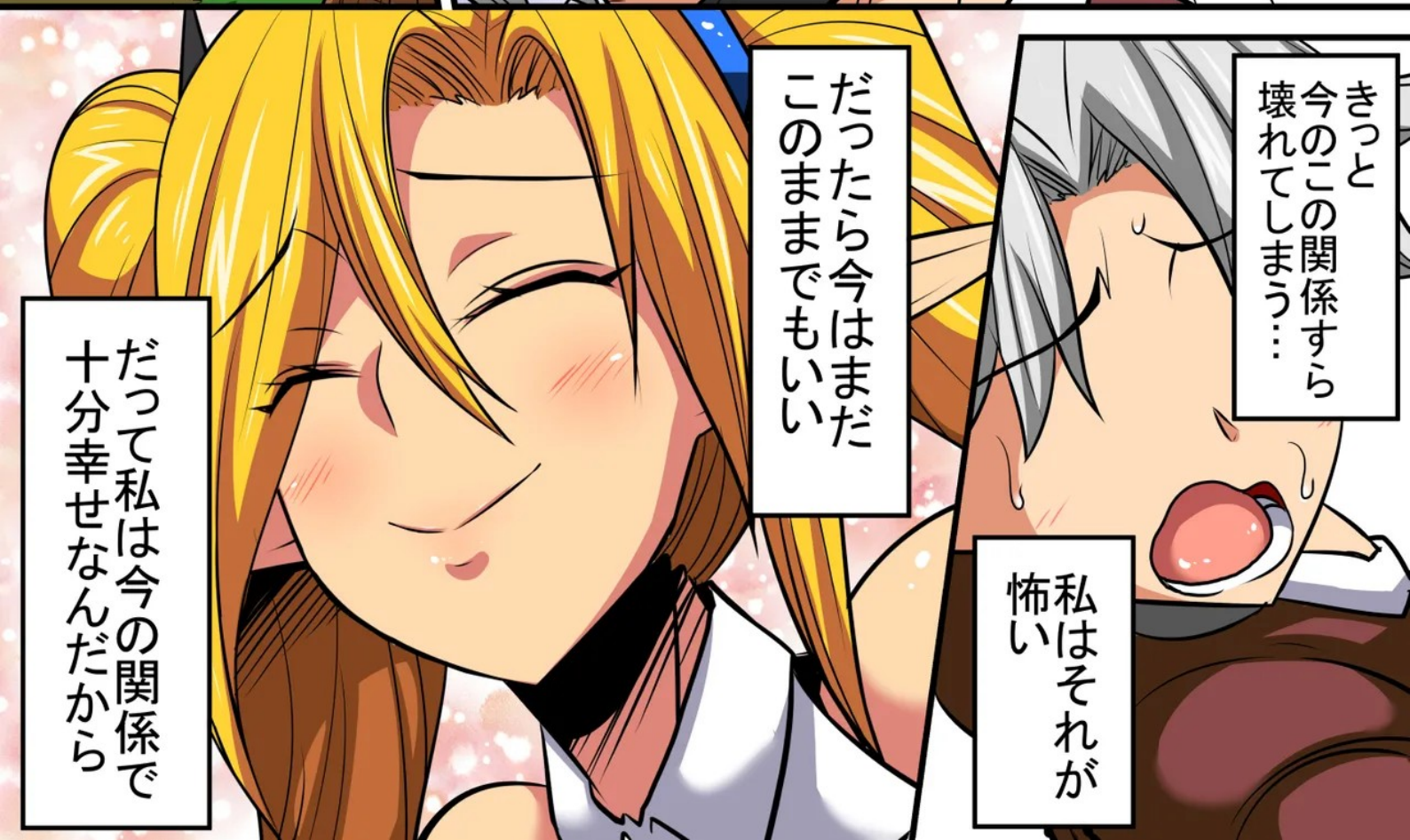
そしてダイスケは次なるターゲット、
娘の「レナ」を堕とすために
行動を開始するのであった…。


「ダイスケ」がホームステイする1週間前――
じゃあ出かけてくるわね
夕方には帰るから
ガチャ…
カルス君とデートかしら？
デッ…!?ち、違うわよ！
ってゆうかカルスはただの友達だし…！
うぶ
ぶふふ
かぁあぁ…♥
レナ そろそろ自分に素直になったら？
年下だけどカルス君はいい子だと私も思うわよ
うんうん


私があなたぐらいの歳の時にはもう周りもそうだったし
シャオさんと結婚してたわよ
確かに最近は晩婚化してきてる感じはあるけどでもねえ
やっぱり結婚は早い方がいいと私は思うそれにね…
いっ…
いってきまーすっ
バターン
レナ!?待ちなさ…
…はあ まったくあの子ったらまだまだ子供なんだから…
ずずずず～
ま、まあそう言わずにさあの子も考えてはいるだろうし
ちょっと聞いてよカルス！
お母さんたら人間をうちにホームステイさせるって言うのよ！
プッ
プーッ
人間なんて野蛮で低俗だって言われてるのに…
千年前に外部との接触を禁止したのも人間が原因って噂じゃない！


まあでもそれは
あくまで噂だし
実際に人間と
接してみるのも
いいんじゃないかな？
フンッ
カルスもお母さんと
同じこと言うのね
むす～
はぁ～あ…
ほんっと
嫌になるわ
お母さんたら
最近結婚まで
急かしてくるし
私まだ母親に
なる気なんて
ないってのに…
…え？
ドキッ♥
…そ、そういえば
レナってその…
す、好きな人…
とかいないの…？
あっ…い、いや！
特に深い意味は
なくて…その…
あせ
あせ
そ、そういう話
全然聞いたことないから
単純に気になって…！


…あ
あんた年下のくせに
私に恋愛指導する気!?
そ、そういう
訳じゃ…!
そんなの1000年
早いのよ!
多分お母さんの
言う通り私は
カルスのことを…
まったく…!
レナ
待ってよー!
だけどもし…
カルスはそうじゃ
なかったら…


きっと
今のこの関係すら
壊れてしまう…
だったら今はまだ
このままでもいい
私はそれが
怖い
だって私は今の関係で
十分幸せなんだから


おんッ♥
ダイスケ君の
おちんぽぉ♥
ブチュ♥
ブチュ♥
ブチュ♥
ブチュ♥
ブチュ♥
朝から
すごッッ…♥
ほら いつまでも
喘いでないで
答えてくださいよ
は はひっ♥
い…いまぁ
朝…ご飯をッ
ぐぶッ
作り…
ながらぁ…♥
パン
パン
パン
パン
ぐぶッ♥
ぐぶッ♥
ぐぶッ♥
ダイスケ君とぉ
パコパコして
まぁ～す♥


いつもこんなエロい格好で料理してんすか？
はっ♥
はっ♥
ズッ♥
ズッ♥
ズッ♥
ズッ♥
ズッ♥
う…ううんこんな服着るのはじ…めて♥
ドスケベな私にお似合いだってぇ…
ダイスケ君からプレゼントされましたぁ…♥
ステラさんエロくて最高っすよ
俺もっ…！すげえ興奮してもう出そうっす…！
パン♥
パン♥
パン♥
パン♥
パン♥
パン♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
イクッ♥
イクッ♥
イクッ♥
い いいよ♥出して…♥
ステラの子宮に…ダイスケ君の精液ぶっかけてぇぇ…♥

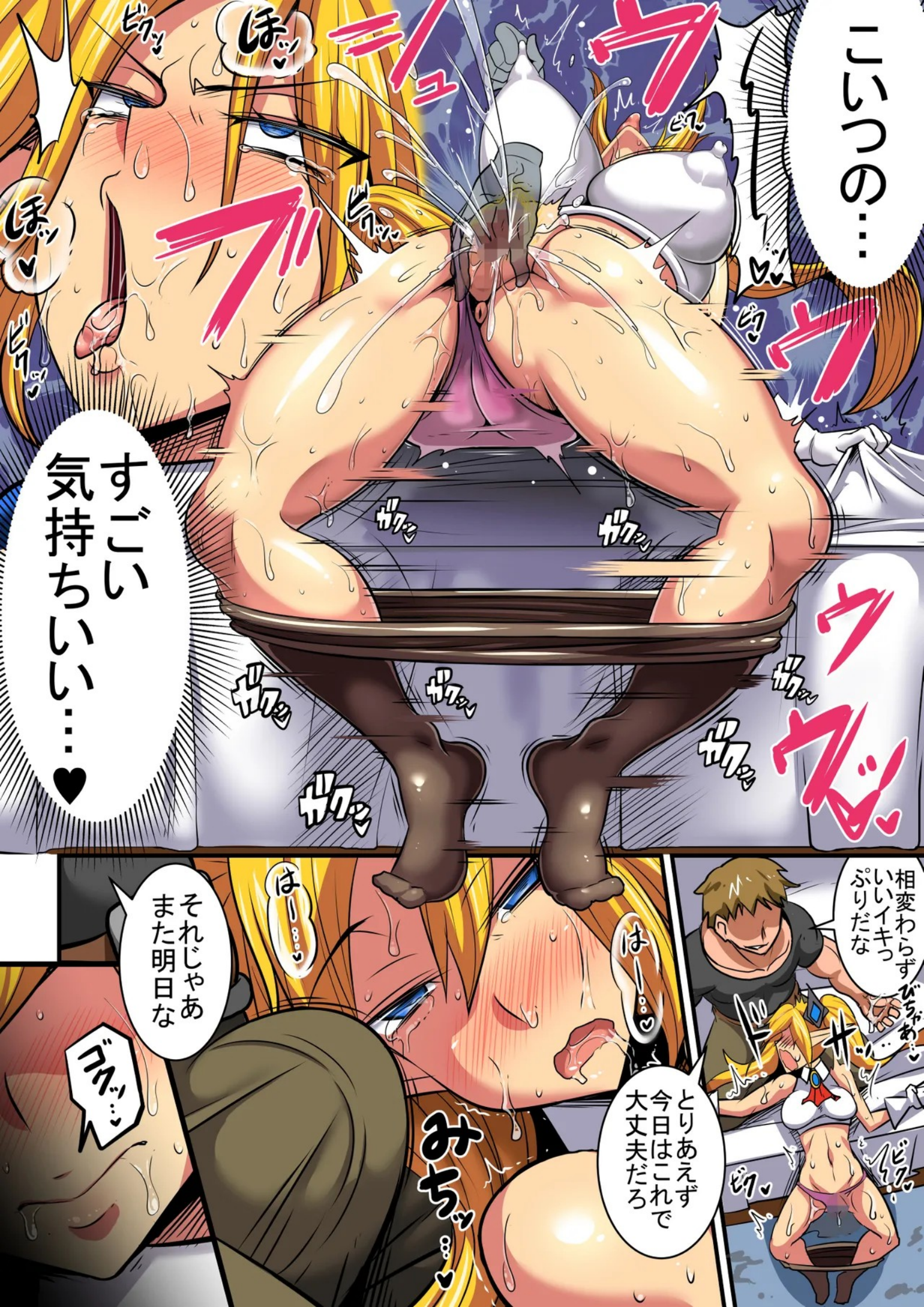

ビクン
ヒルル
おぉおぉぉ♥
ビクッ
ビクッ
ヒルル
ル
ル
ル♥
ビュッ
おっ♥
く…ぅ まんこが精液絞り取ろうと締め付けてきやがる…！
おっ♥
ビュッ
ビュッ
ビュッ
おっ♥
ヌチュ
ぶぴっ♥
んほぉっ♥

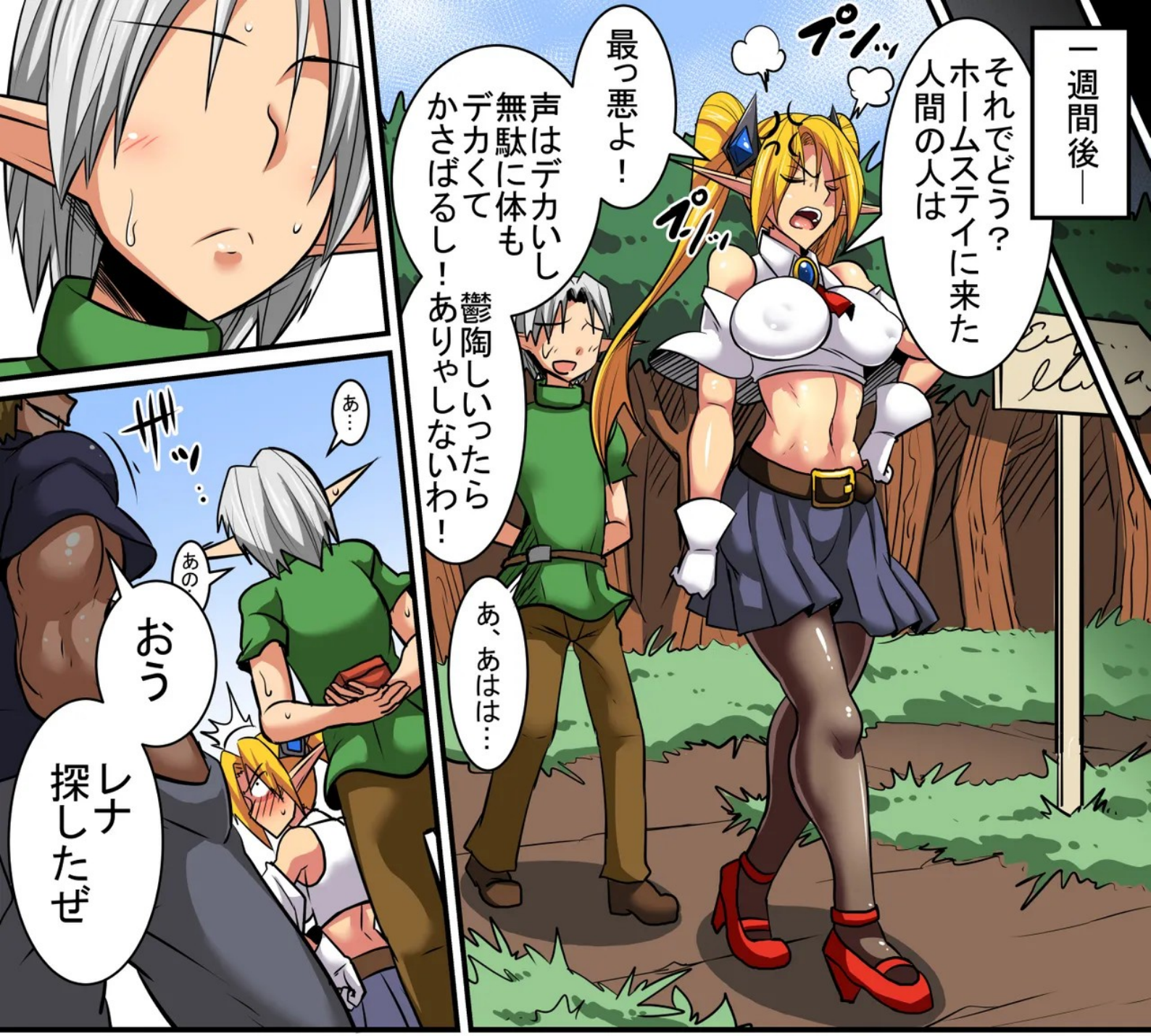

ふぅー…
ステラさん 朝ヌキ
どうもっす♪
あ 最後に
何か一言
いいっすか？
ハッ
ハッ
えっとぉ…
あ、あなた…
ごめんなさぁい…♥
ピクッ
今日もダイスケ君に
私のおまんこを
使わせて
あげちゃいましたぁ～♥
もちろん中出しです♥
ピクッ
くぱぁ…
ゴポッ
ピッ…
…とまぁ
これが今朝撮った
ハメ撮りだ
こんなセリフを
抵抗なく
言うなんて
この女も
すっかりビッチに
なったもんだ
14/12/14:49

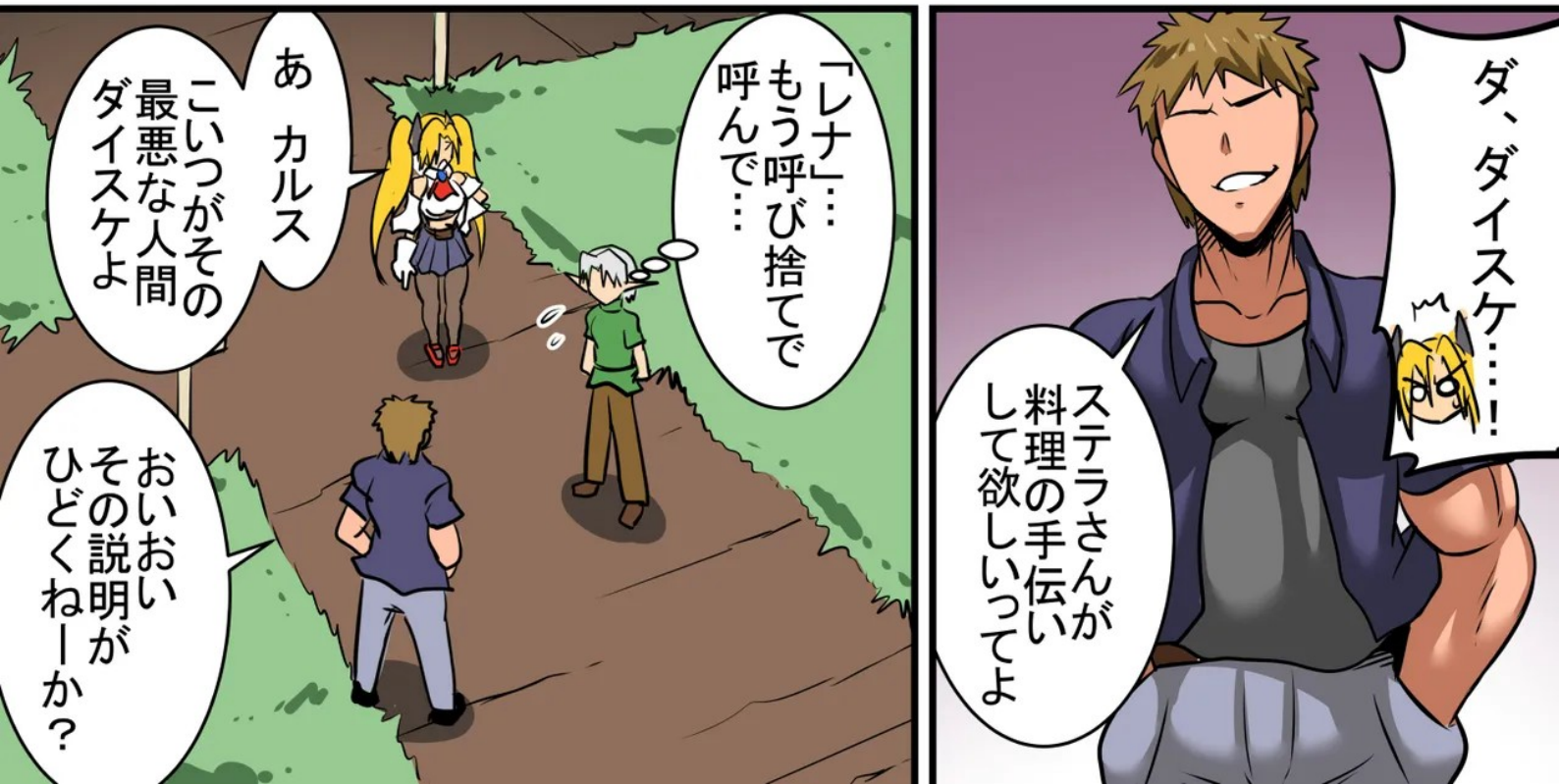

お前もそう思わねーか？
レナ
黙り…なさいこの変態…！
噂通り人間って…
下等な生き物ね…！
ビクッ♡
ブッ♡
ブッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
じゅぶぶ♡
じゅぶ♡
じゅぶぶ♡
じゅぶ♡
じゅぶ♡
じゅぶぶ♡
ギュッ♡
キッ


変態ねぇ
カリッ
ぷしゅ
毎日オナニーしねーと
発情しっぱなしに
なる変態女には
言われたくねえなぁ(笑)
こ、これは
絶対あんたのせいよ！
私がこうなったのは
あの日ア…アレを
見てからだもの…！
いずれにしても
てめーがどんなに
俺を嫌おうがよ
おいおい
人のせいに
すんなよ
お前が
ドスケベ
なだけだろ
ま その通りだがな
人間のオスの
強いフェロモンが
メスエルフを
発情させる—
あの日ステラと
激しいセックス
してた俺の
匂いを嗅いだのが
原因さ
性に疎くて
自分ひとりじゃ
自慰も満足に
できない
お前は…


オレに手伝ってもらうしかないわけだがな
いやだろ？前みたいに発情して道端でぶっ倒れるのはよ
くや…しい…！
こいつのやり方真似して…自分でしてもお…
全然気持ちよくなかったのに…♥
おら
イけ

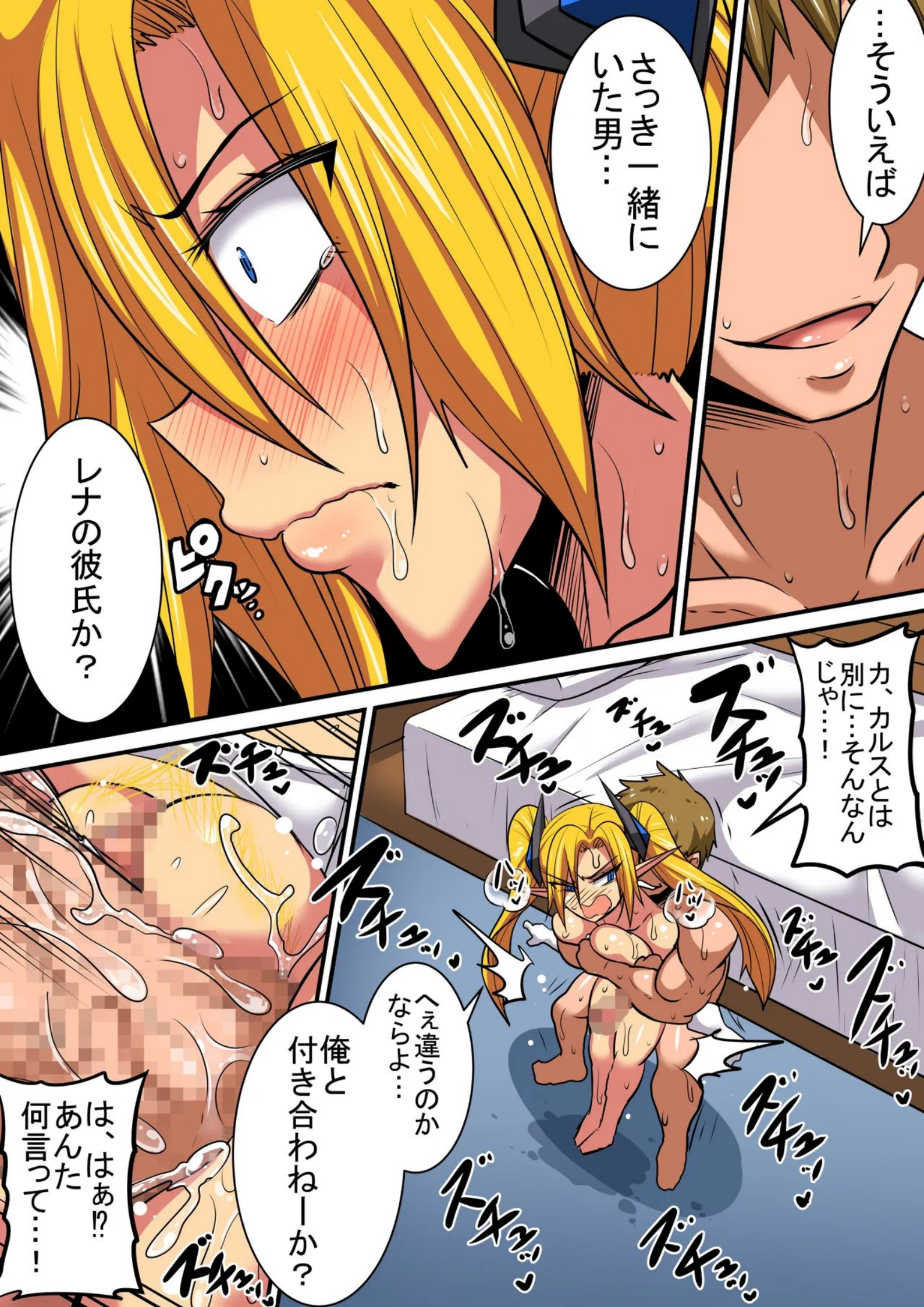

こいつの…
ほッ♥
ほッ♥
すごい
気持ちいい…♥
相変わらず
いいイキっ
ぷりだな
とりあえず
今日はこれで
大丈夫だろ
はー…♥
はー…♥
それじゃあ
また明日な
ゴクッ…
みちッ…♥


一週間後―
それでどう？
ホームステイに来た
人間の人は
プシッ
最っ悪よ！
声はデカいし
無駄に体も
デカくて
かさばるし！
鬱陶しいったら
ありゃしないわ！
プシッ
あ、あはは…
あ…
あの
おう
レナ
探したぜ


ダ、ダイスケ…！
ステラさんが
料理の手伝い
して欲しいってよ
「レナ」…
もう呼び捨てで
呼んで…
あ カルス
こいつがその
最悪な人間
ダイスケよ
おいおい
その説明が
ひどくねーか？


じゃあごめんねカルス
先に家に帰るわね
あ…うん
はぁ…
結局今日も渡せなかった…
……
…な、なんだろう人間なんて最悪って言ってた割には…
結構仲良さそうに見えるけど…
気のせい…
だよね…
ぐぬぬ…


いい表情だぜレナ
ハー♥
ハー♥
そんなにコレが気持ちいいか？
ビクッ
ビクッ
ビクッ


…そういえば
さっき一緒にいた男…
ピクッ。
レナの彼氏か？
カ、カルスとは別に…そんなんじゃ…！
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ


あッ♥
冗談じゃねーよ
オレさレナに
ガチで惚れち
まったんだわ
そういうレナも
満更じゃねーだろ？
わ、私は…んっ♥
あんたのこと…なんか
大嫌…いッ…♥
嘘言うなよ
嫌いな相手に…
ここまでのこと
させねーだろ？


これはぁ…
あんたがこうしないと性処理しないっていうからぁ…♥
へっ
おまんこここんなに濡らしてちゃあ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
そんなこと言っても説得力がねぇなぁ
あ…♥
カァアアア…♥
おっ!?
ズッ
ビッ♥
ゴリッ♥
ゴリッ♥
ズッ
擦れッ…て♥
ズッ
ズッ
ズッ


イッ♥
ビクン
ビュブブッ♥
我慢できなくなったら言いなオレとセックスしたくなったらよ
ほっ♥
ほっ♥
最悪…
今日もダイスケに流されてあんな恥ずかしいことを…
しかもさっきのあいつ私に惚れたとか簡単に言って…！
男女の距離感が無茶苦茶すぎなのよ！


…ま、まあ
気が利いたりして
多少は良い所も
あるけどさ
すぐエロいこと
しようとしなきゃ
良い奴なのに…
ほんと
カルスとは
正反対な
男だわ…
「惚れた」…か
そんなこと異性に
言われたの初めて…
ギュ…
…やっぱり
カルスは私のことを
異性としてなんて…
…ん？
ダイスケの部屋
開いてる…
ちらっ


ど、どうかしら？
想像以上っす！
ばっちり似合ってるし
超エロいっす！
もぉ…　おばさんに
こんな恥ずかしい
服着させるなんて…♥
胸ぎゅ…
あいつ…！私に
あんなこと言った
その日にお母さんと…
っていうか
お母さんも何
考えてるのよ！
まぁ
あの衣装よりは
ましだけど…♥
ノリノリで
そんな恥ずかしい
服まで着て…！
むちっ
ぐぐっ
ビクッ
アナル
プラグを
あ、
それじゃあ
抜きますよ？
分かって
ますって


ズル
ぴゅっ♡
ルル
ル
ゴク
ゴク
おッ♡
おッ♡
ぐぐぐ
ビクン!!
ズ!!
ブシュッ♡
んぴッ
ポンッ
お～ アナルにかなり馴染みましたね
もうアナルが開きっぱなしじゃないっすか
ってか本当にアナル処女♪っすか？（笑）
はへッ♡
はへッ♡
ピクッ
ピクッ
ピクッ
おおお
じぢお
ぱく♡
ぱく♡
じじ…♡
みちっ…♡
みちっ…♡
みちっ…♡
じじ…
んじゃあ…


アナル処女
ゴチでーす♪
ぐぉぉぉぉ
くぅ……！
締め付け
えっぐ……！
エルフの
雌は
こっちの
具合も
最高っすねぇ
反応が
いいところも
高得点っす♪


イクッ
もうイクッ
もうっスかぁ？
初めての癖に
ビッチなケツ穴だな
おらっ！
パンッ
パンッ
パンッ
イク時は
ケツアクメするって言えよ！
あ…ありえない…！
お尻の穴に
挿れるなんて…！
生殖行為ですらない
ただ快楽を得るための
行為じゃない…！
ぎゅむッ
ぎゅむッ
どこまで
低俗なのよ
人間は…！
…なのに
イキッ
ケツアクメすりゅうぅぅッ
お母さん…
なんでそんなに
気持ちよさそうな
顔をしてるの…


「セックス」したら…
で、出てりゅっ…♥
おしりぃ…
あっつぅ～♥
休ませませんよ
即二回戦っす
あんなに…
気持ちよく…
私も…


ふぅ…♪
こいつのアナル
マジで
具合良すぎだわ
帰国する前に
また使わねーと
もったいねーな
カシャッ
ビクッ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ズズ
ズズ
ズッ
ぽっ♥

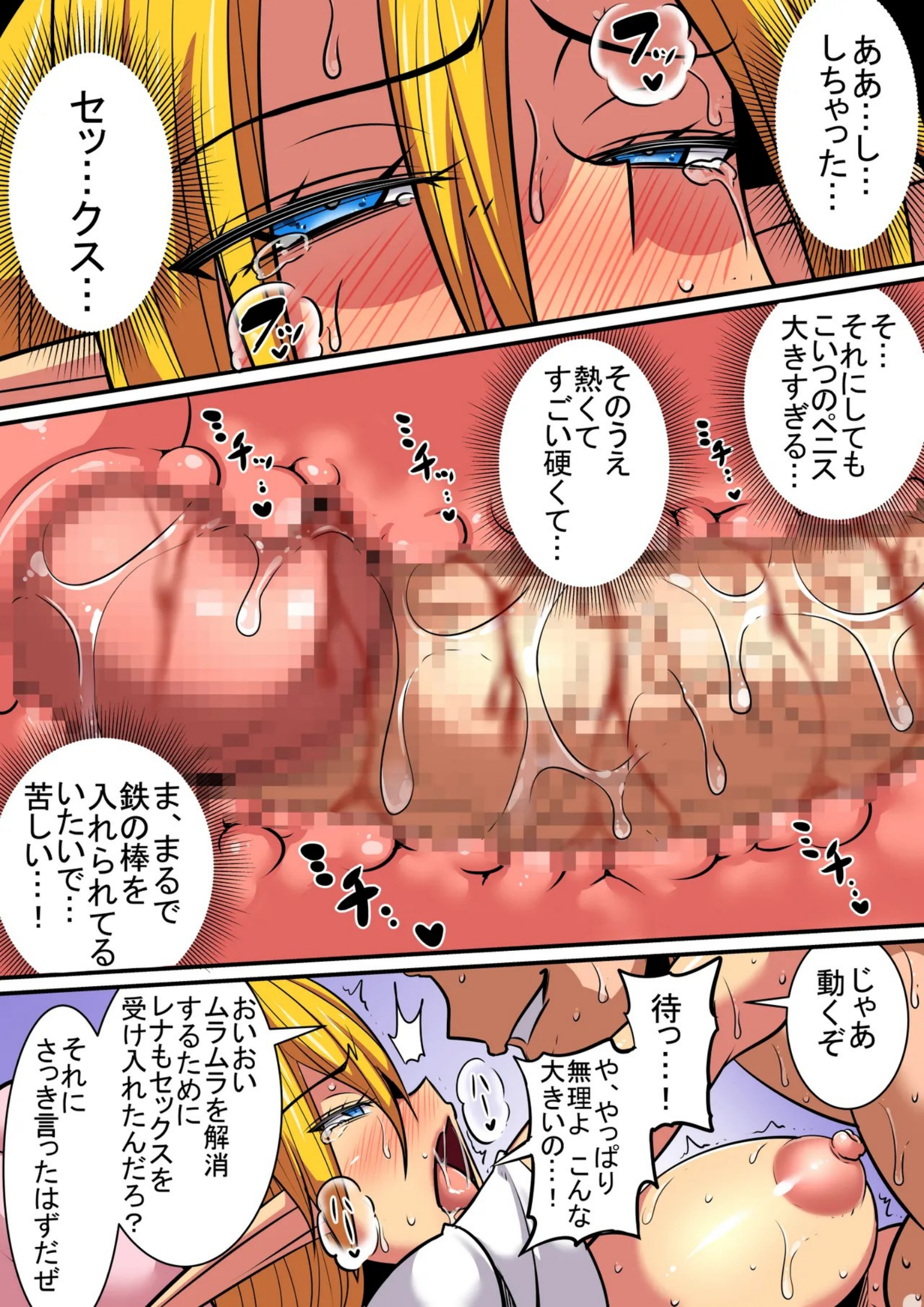

さてと…旦那は
薬で朝まで
ぐっすりだし
まだまだ今夜は
楽しまねーとな
ギシッ
ピクッ♪
ピクッ♪
ギィ…
おー こりゃ
かつてないほどの
発情してるねぇ
こんなのじゃ…♥
足りない…♥
もっ…とぉ♥
ブッ
ブッ
ブッ
ブッ
ピクッ♥
まあ オレにしっかり
開発されたその体で
あのセックスを見たら
ただでは済まねーわな
気もち
よく…ッ♥
安心しな すぐに
助けてやるからよ
くくく…
ぴちゃぁ…


はぁぁぁ～…
ダ、ダメだぁ！
あの人間の人とレナとの関係の事ばかり気になって…
こんなこと考えてても仕方がないのに…！


…そうだ
考えてても
仕方がないんだ
実際に行動を
起こさないと…！


この村には若い男が
少ないからあまり
意識したことは
なかったけど…
グッ…
レナが他の男と
結婚する
可能性なんて
全然あるんだ…！
キシ…
キシ…
はッ…
あ
キシ…
んんッ
次の…
次の休日こそ
絶対に…


レナに
エルフ女の
処女食い
達成～♪
いっ…
ブチッ
ブチブチ
ブチチ
告白する…！


ああ…し…
しちゃった…
セッ…クス…
そ…
それにしても
こいつのペニス
大きすぎる…
そのうえ
熱くて
すごい硬くて…
ま、まるで
鉄の棒を
入れられてる
いたいで…
苦しい…！
じゃあ
動くぞ
待っ…！
や、やっぱり
無理よ こんな
大きいの…！
おいおい
ムラムラを解消
するために
レナもセックスを
受け入れたんだろ？
それに
さっき言ったはずだぜ


ドスケベなレナなら
すぐにオレとのセックスにハマるってよ
ズッ
ズッ
ズッ


は…
初めてなのに…
ブボッ♥
ブボッ♥
ギッ♥
ギッ♥
ブボッ♥
ぶ～♥
ぶ～♥
ブボッ♥
ブボッ♥
ブボッ♥
ぐぢゅ♥
ぐぢゅ♥
ど…どんどん
気持ちよく
なるぅ…♥
ぐぢゅ♥
ぐぢゅ♥
ぐぢゅ

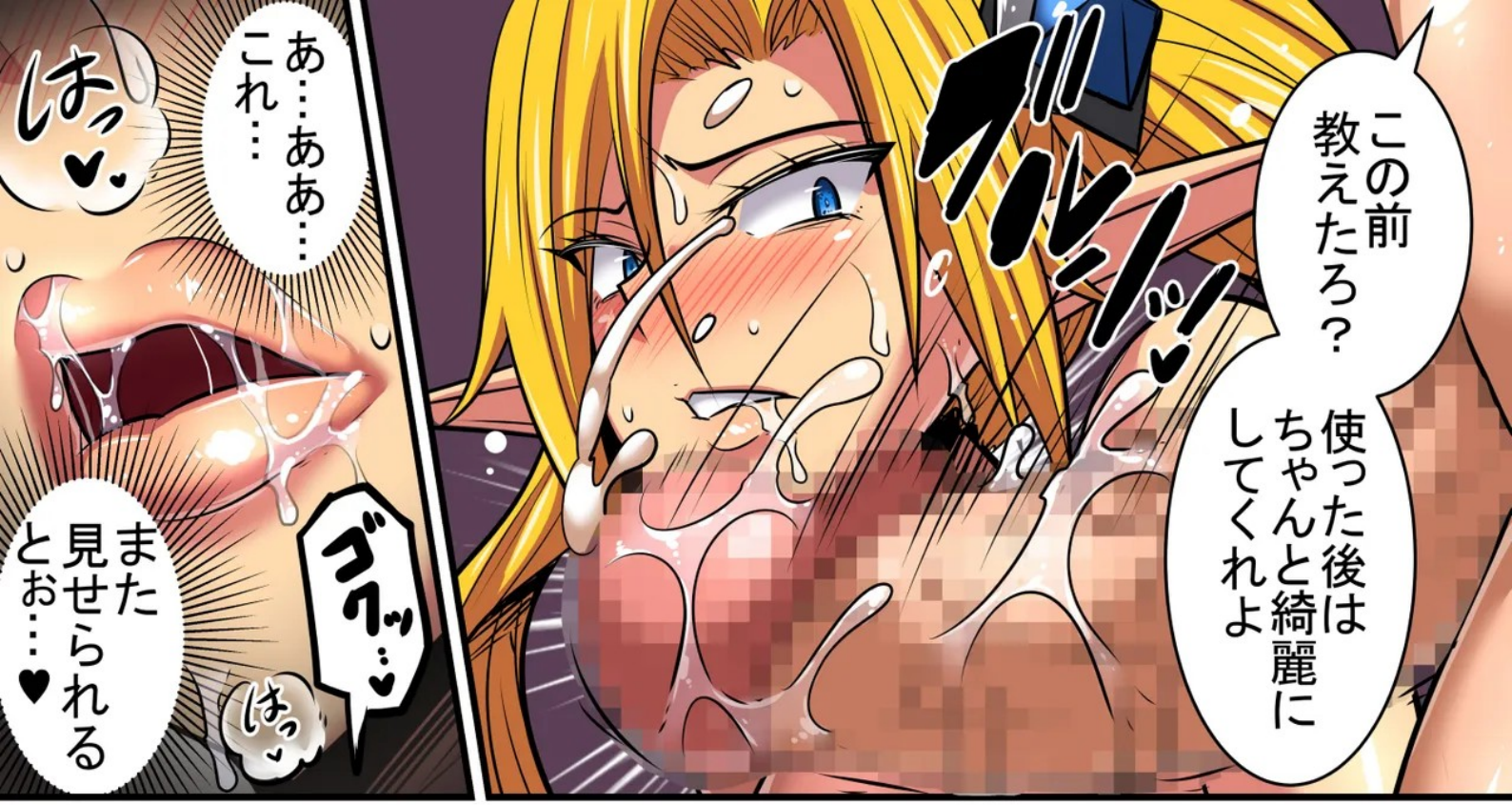

オレもだ
ズ
ぐぶっ!?
あ…
じゅるるる…♥
じゅぽっ♥
私の…
ファースト…
ぷはっ♥
ぐぶっ
キス…♥
キス…ずこっ…♥
舌…犯してるの…♥
ズチュ♥
ぴちゃ♥
気もち…いい…♥
レナ！
出すぞ！
ズチュ♥

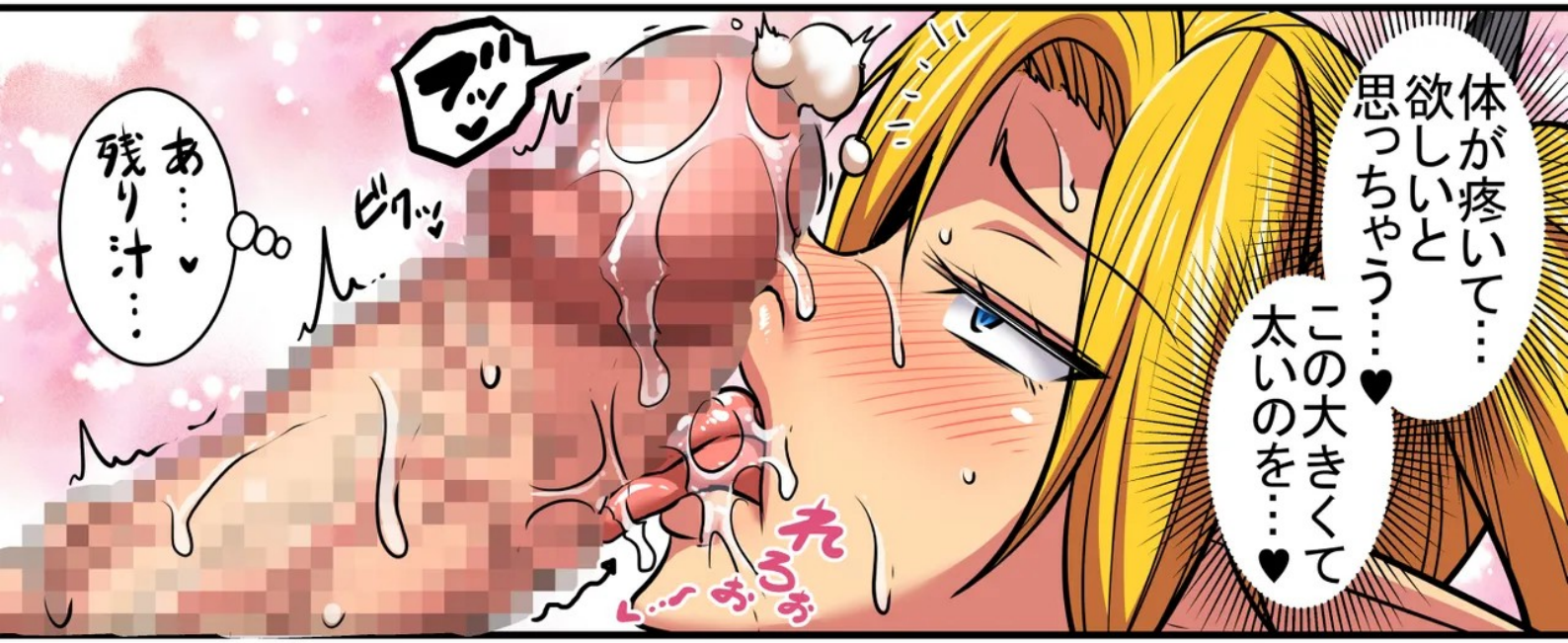

ビクッ
ビル
ルッ
ビクッ♥
ぐぅぅぅっ♥
ビュルルル♥
お…なか熱…つぅ…♥
ビュッ♥
ビュル♥
ビュッ♥
ビュルルル♥
え…これ膣に…出されて…？
わりぃレナのまんこが
ピク…
ピク…
気持ち良すぎて中出ししちまった

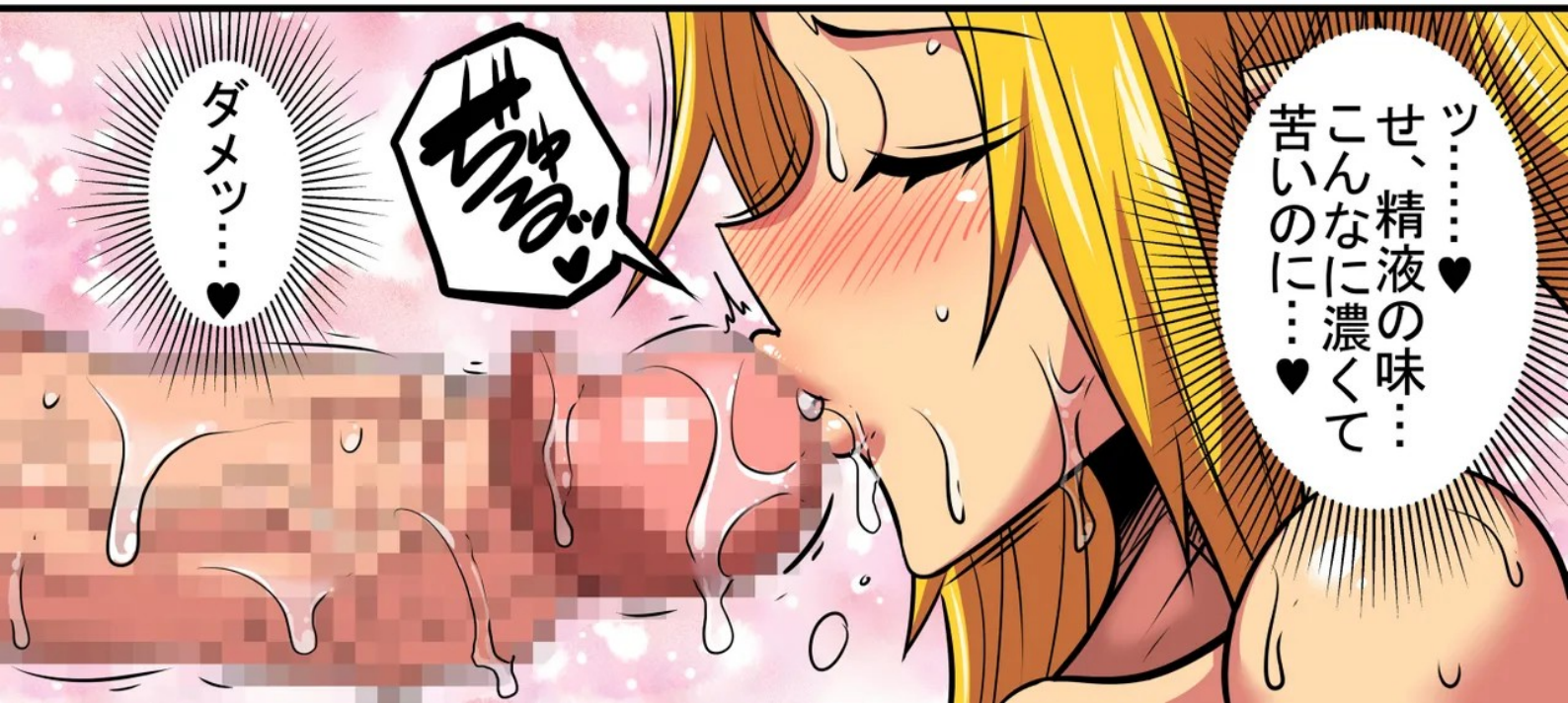

ズ
ポッ
ふぅ…レナの
処女まんこ
一級品だったぜ
まあこれで
使用済みになっち
まったけどな♪
ビクッ
ビクッ…
セックスに
よがるレナも
最高に
可愛かったぜ
ポーン
ビクッ…
ビクッ…
カルス…
私……
ますますレナの事
好きになっちまった
またしようぜ
「セックス」


レナはまたダイスケ君の部屋かい？
うん 人間の文化について教えてもらってるみたいよ
レナのやつ最初は彼をあんなに嫌ってたのに
そうね
今では二人ともすっかり仲良し
彼の教え方が上手いからかしら♥


ふー…
ほんと名器だわレナのキツキツまんこ
毎日 やっても全然飽きねーわ♪
おいレナ
く…うぅっ…もう…しないって…決めてたのにっ…♥
流されて…避妊具付けてるとはいえ今日もこいつと…♥


この前教えたろ？
使った後はちゃんと綺麗にしてくれよ
グルンッ♥
あ…ああ…これ…
はっ♥
ゴクッ♥
はっ♥
また見せられるとお…♥

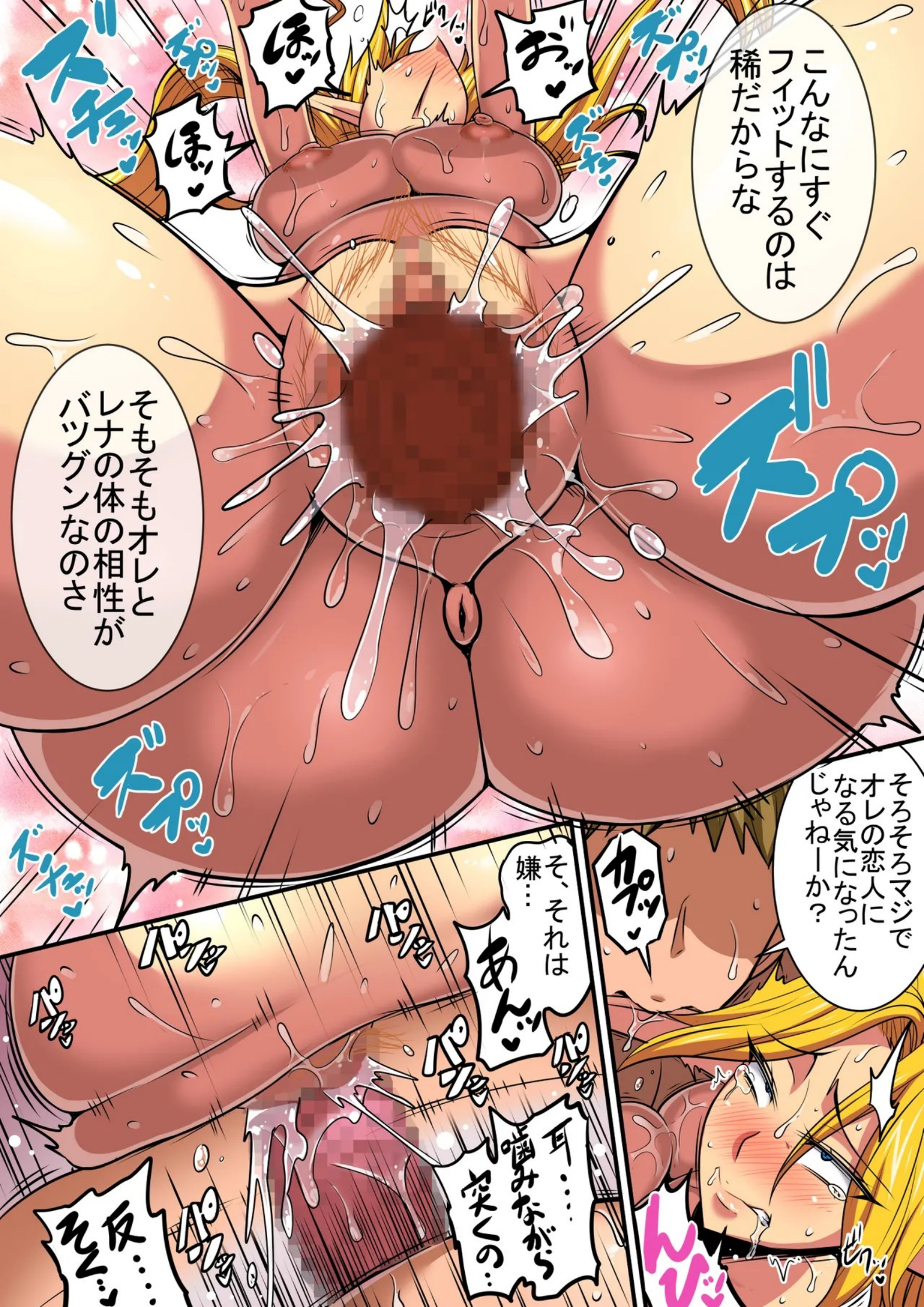

体が疼いて…欲しいと思っちゃう…♥
この大きくて太いのを…♥
ブッ
ビクッ
あ…残り汁…
れろぉ〜♥


ッ……♥
せ、精液の味…こんなに濃くて苦いのに…♥
ダメッ…♥
ガシッ♥


欲しい…♥
もっとお…♥
おお―…
それチンポに
効くぜっ…
ったく ずいぶん
フェラも上手くなったな
またイキそうに
なってきちまった…
ぐぽっ♥
ぐぽっ♥
ぐぽっ♥


ハメ
ウ
ウ
ウ
ウ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ


んっ…♥
ぅぅぅ～～…♥
へっ…しかし
初めての時と
比べて
ずいぶん
すんなりと
入るように
なったよなぁ♪
あ…あんたが
毎日何回も
するからでしょ…♥
まぁ
確かに
それでレナの
まんこが
オレの
チンポサイズに
広がったって
のもあるが


こんなにすぐフィットするのは稀だからな
そもそもオレとレナの体の相性がバツグンなのさ
そろそろマジでオレの恋人になる気になったんじゃねーか？
そ、それは嫌…
あんっ
耳…噛みながら突くの…
反…そこ…
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ほっ
ほっ
おっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
カプッ
んぢゅ

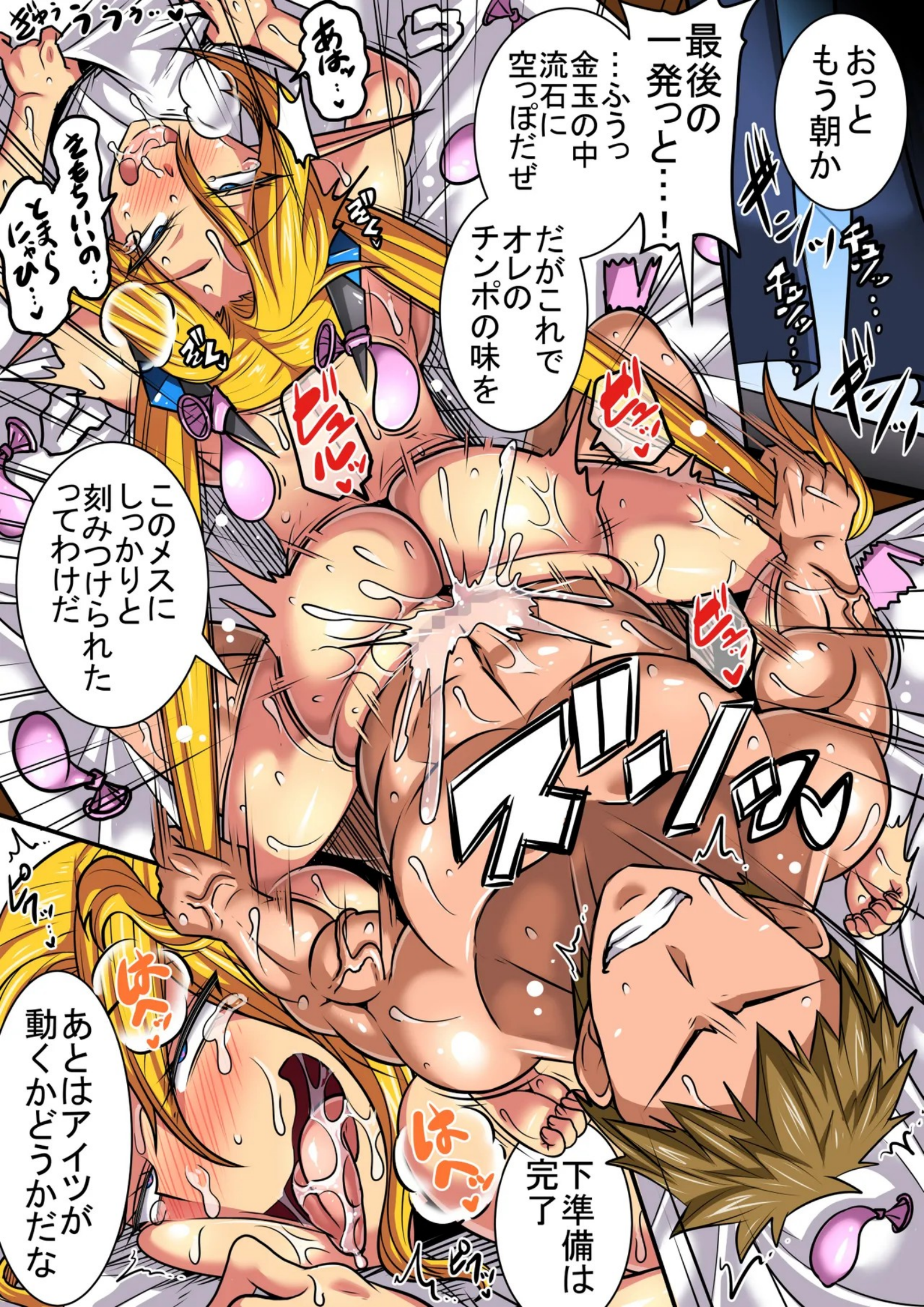

なんだ？
まだ俺の事嫌いか？
べ…別にあんたの事…
今は嫌い…という訳じゃないけど…
マジでサイコーだわステラもいい女だが
まさかレナの方もここまでオレをたぎらせる女とはな
最初会った時はオレをあんなに嫌ってたくせに
ビクッ♥
あっ♥
イクッ
今ではオレに
こんなスケベな顔を見せてくれるんだからよ♪
はあっ♥
ぎゅうう♥
ズッ♥
ズッ♥
ギンッ♥
ギンッ♥
ギン


帰国の日まであと2週間くらいか…
それまでに必ず
ステラと一緒に孕ませてやるからな
ああ…♥このままだと私…♥
っ…♥こいつとのベロチューで…気持ち良くてぇ…♥
ダイスケの唾液もっと飲みたいと思っちゃってる…♥
パン
ピチャ
じゅるる
じゅぷっ♥
ガシッ


こいつの事
本当に―♥
へへっ まんこ
ギュウギュウ
締め付けやがって
まだまだ
オレのチンポが
欲しいみてーだな
いいぜ 今日は
朝まで寝かせねーぞ


んー…
全然気持ちよくねえな
だ…だってこんな体勢でするの初めてだし…
こ、こう？
だからもっと腰を使えって
ちゃんと覚えろよ腰はこうやって使うんだぞ
あッ♥
パンッ
ほッ♥
はげひッ♥
おかったからぁ…♥
おうッ♥
とめ…てぇ
あッ♥らめッ♥
イくイくイくもうイクッ♥
ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ
フー…
フー…
フー…


おーい
そろそろ
起きろぉ
おっ
やっと起きたか
起きた瞬間
イクなんて本当
レナはドスケベだな♪
レナは否定してたがよ
やっぱ母親同様
アナルの素質も
バツグンじゃねーか
ってかこの反応
ステラ以上だぜ
今度こっちの方の
初めてもオレが
貰ってやるからな
レナ
好きだぜ
愛してる


おっと
もう朝か
最後の
一発っと……！
…ふうっ
金玉の中
流石に
空っぽだぜ
だがこれで
オレの
チンポの味を
下準備は
完了
このメスに
しっかりと
刻みつけられた
ってわけだ
あとはアイツが
動くかどうかだな
あぁ…♥
そもそもいいの…
とまらにゃひ…♥


同日　昼―
はーい
あっ
カルス君じゃない
ステラさんこ、こんにちはあ、あのレナはいますか？
あの…シャオさんはいらっしゃらないんですか？
ええ　朝から漁に出かけてて帰るのは夜になるみたい
レナはここにいるわ
ガチャ
え…？
しーん…
誰もいな…
むわっ…
いるわよ案内してあげる
さぁ入って♥


ぺたんっ
フフ…シャオさんは無反応だったけど
ぴくっ
…？
ぱあ…
ぴくっ
思ってた通り若い男なら違うみたいね
か、体が熱くて…力が入らな…
ぱあ…
なっ…！
カ、カルスとお母さん…!?
あぁ～…
あのまま寝っぱなしだったらヤバかったな
な、なんでこの部屋に来たの…!?


あ♥
ムクッ♥
あづッ
カルス君
勃起してる♥
クスッ♥
やっぱり小さくて
可愛いおちんちんね♥
お母さん!?
何して…!!
へっ あっちも
盛り上がって
きたみてーだしよ
こっちも
始めよーぜ♪
はあ!?
バカなこと
言ってないで…
ってちょっと!
い、挿れようと…
しないで…!
しかも
それ生じゃ…


ぶるん
あは♥
可愛い～♥
ヤ、やめ…
ズッ
あんた…
ぬ、抜きな…
さいよっ…♥
いまさら
何嫌がってんだ
昨日あれだけ
ヤった仲だろ？
ば、バカッ！
カルスが
近くにいるのに
こんなの…♥
なんだよ
レナやっぱり
お前―

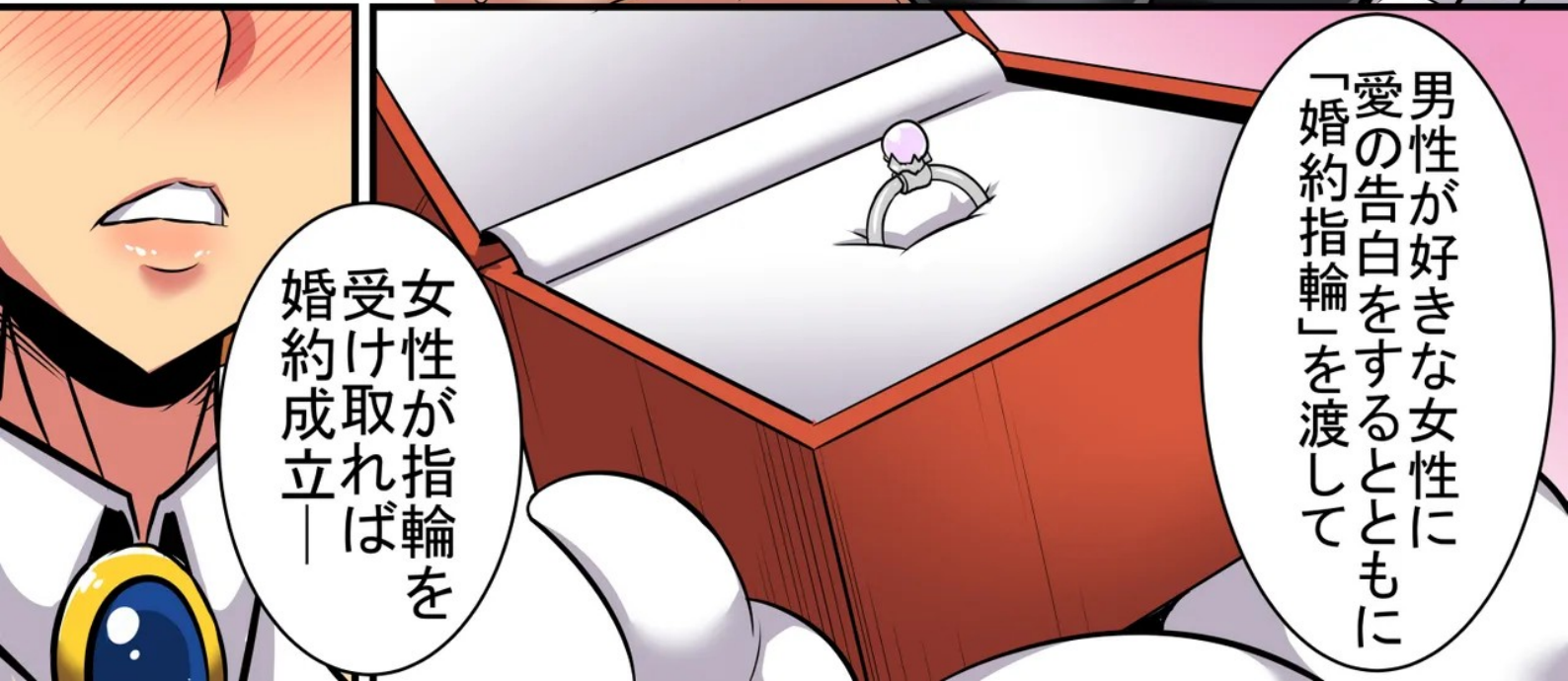

アイツのことが好きなんじゃねーか？
わ、私は…
うわっ！ステラさん!?
私も同じ気持ちよ♥だからいいわよねこのまま私の膣に―
カイル君 今こういうコトしてみたい気持ちでいっぱいでしょ？
ぐぃっ
ぴくっ
あっ♥
ぎゅっ♥


ぼ…
僕は
レナが
好きなんだ！
そういうことは
ごんっ
キャッ…!!
レナ以外とは
するつもりは
ありません！
…
カルス
良かった
なぁ
ガビ〜ン
両想いでよ

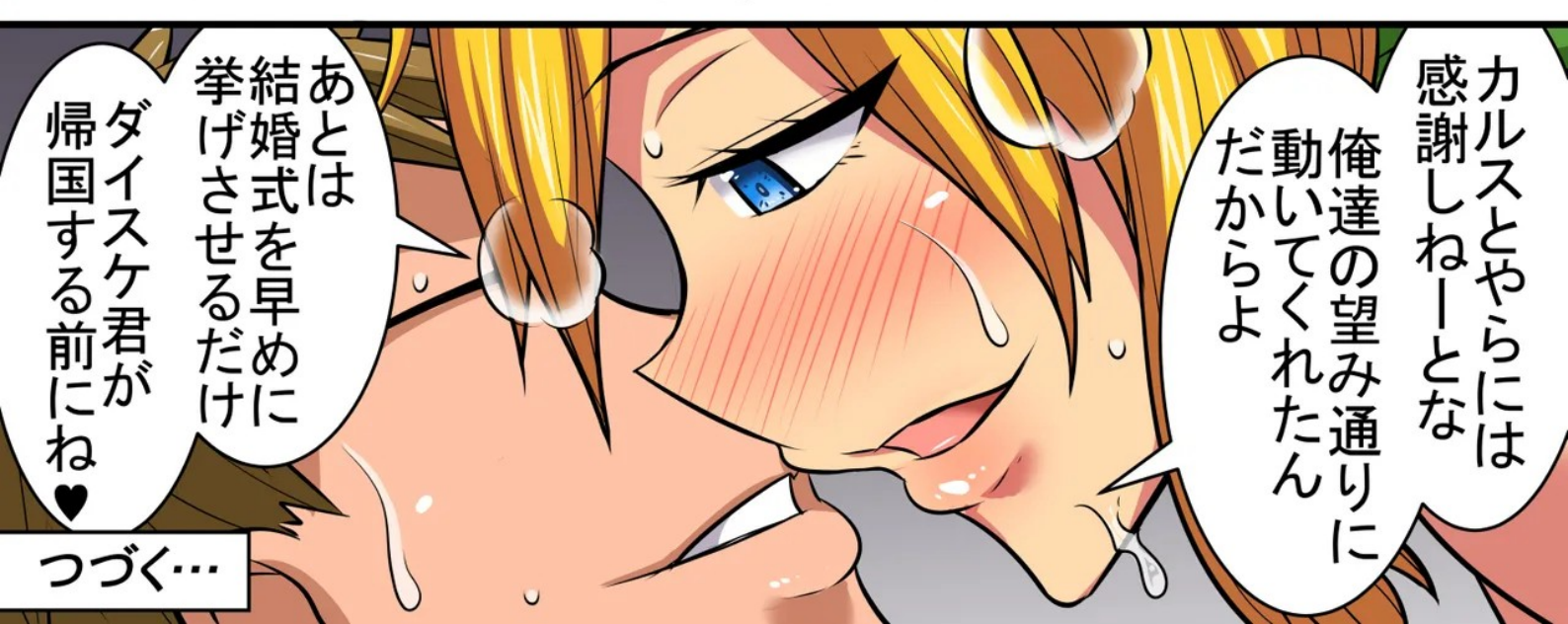

…カルス君
ごめんなさい
あなたを
試すような
ことをして…
え…？
レナもきっと
カルス君のことが
好きよ
おっ
出るわ♪
ダメッ…
やめて!!
私…!!
だから私
知りたかったの
カルス君が
レナの事
どれくらい
好きかをね
そのために
この部屋に
少し特殊な香水を
使ったのだけど―


でもこれで安心できたわ
カルス君
レナのことよろしくね♥
イッグ
おっ
ゆるゆるゆる


いってぇ…ったく
レナの奴
思いっきり
ビンタしやがって…
しかしエルフの
恋愛事情には
驚かされたぜ
恋人関係になったら
すぐ結婚だなんてよ
それが私たち
エルフの
風習なのよ
パーン
パーン
パーン
パーン
パーン
パーン
ハッ♥
ハッ♥
ブルッ
ブルッ
ヒリ
ヒリ
ブチュ
ブプッ
自分の本心に
気付いた子に
中出しなんて
するのが
悪いのよ♥


男性が好きな女性に
愛の告白をするとともに
「婚約指輪」を渡して
女性が指輪を
受け取れば
婚約成立―


それで二人はめでたく式を挙げられて
夫婦になれるってわけだ
んんっ♥


カルスとやらには感謝しねーとな
俺達の望み通りに動いてくれたんだからよ
あとは結婚式を早めに挙げさせるだけ
ダイスケ君が帰国する前にね♥
つづく…